

Combi

コンビ ハイ&ロースウィングラック

レミニス

取扱説明書

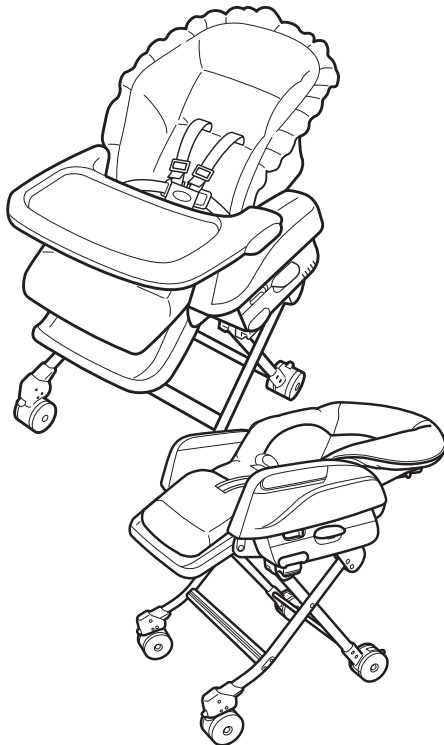
品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

■本書は大切に保管してください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



もくじ

はじめに

ご使用前に	1
使いかたの目安	1
安全にご使用いただくために	2
各部のなまえ	6

使いかた

高さ調節のしかた	7
キャスター・車輪ブレーキの使いかた	8
シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト) の使いかた	9
テーブルの取り付けかた	11
リクライニングの使いかた	12
スウィングの使いかた	13
収納レバーの使いかた	14
シートクッションの取り付けかた	15

その他

日常のお手入れのしかた	16
スウィングラック Q&A	17
保管のしかた	18
点検とアフターサービスについて	18
廃棄方法について	18
SG マークの被害者救済制度	18
品質保証書	裏表紙

ご使用の前に

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としています。

望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして 60 分間 / スウィング 15 分間 ※ 1 日の合計使用時間：3 ～ 4 時間

使用できるお子さまの年齢

新生児～48 ヶ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 18kg）

簡易ベッドとして使用するときは

新生児～5・6 ヶ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 2.5kg ～ 8kg）

※ スウィングを使用するときも同じです。

いすとして使用するときは

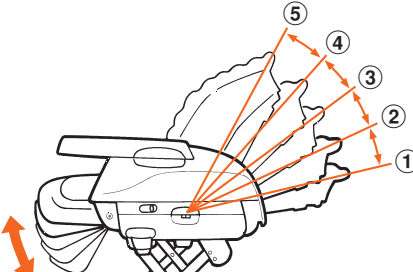
腰がすわってから（お座りができるようになってから）48 ヶ月まで

（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 18kg）

使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの月齢にあわせ下記の使用条件をお守りください。

●**新生児とは**…この取扱説明書では、体重 2.5kg 以上で在胎週数 37 週以上のお子さまとしています。

月齢の目安		新生児～2・3 ヶ月		2・3 ヶ月～5・6 ヶ月	5・6 ヶ月～18 ヶ月	18 ヶ月～48 ヶ月
発育状態の目安		首がすわるまで		腰がすわるまで	腰がすわったころ	1 人でお座りができた後
使用方法		簡易ベッドのみ		簡易ベッド	いす	いすのみ
スウィング使用可否		○		○	×	×
リクライニング角度の使用範囲		①		①②	③	③④⑤
						
シートベルト	肩ベルト	必ず使用		必ず使用	必ず使用	—
	腰 / 股ベルト	必ず使用		必ず使用	必ず使用	必ず使用

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。
- 本来の使用目的以外でのご使用はしないでください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性あります。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

ワンポイント	補足説明
--------	------

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

- 使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
 - ・簡易ベッドとして使用するときは（1ページのリクライニング位置①と②）
 - ：新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～8kg）
 - ※スウィングを使用するときも同じです。
 - ・いすとして使用するときは（1ページのリクライニング位置③④⑤）
 - ：腰がすわってから（お座りができるようになってから）48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
 - 必ず股ベルト、腰ベルトを使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには、必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトも使用してください。
 - ※スウィングを使用するときも同じです。

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- 必ず保護者の目の届くところで使用してください。また、絶対にお子さまを1人で放置しないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず十分注意してください。



- ラックの周りにいるお子さまがラックの下にもぐり込んだり、ラックの操作をしないよう注意してください。



- ラックに腰かけたり、大人が荷重をかけないでください。

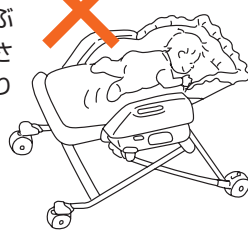


思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- 一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝などの長時間寝かせるベッドとして使用しないでください。



- 簡易ベッドとして使用するときは、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息するおそれがあります。



- 収納ポジションでは使用しないでください。



- 落下するなど、強い衝撃が加わり、変形・割れなど、部品が破損したラックは使用しないでください。



- 次のような場所では使用しないでください。

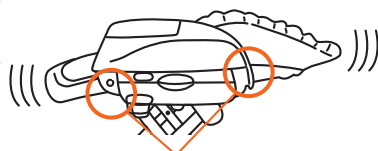
- ・ストーブや熱器具など火気の近く
- ・落下物の心配のあるところ
- ・屋外など直射日光のあたる場所
- ・浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・強い磁気の発生する場所
- ・振動の発生する場所
- ・調理台のそばや油煙や湯気があたる場所



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



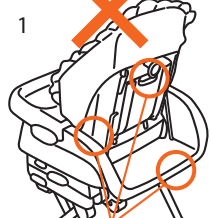
- スウィングするときに、サイドガードとサイドカバーの間、ステップ裏側のすき間に指や手をはさまないよう注意してください。



指や手をはさまないでください。

- リクライニングを操作するときに、指や手をはさまないよう注意してください。

- ① リクライニングレバー周辺や本体背部、本体座部の間
- ② ステップ裏側
- ③ サイドガードと背もたれの間



指や手をはさまないでください。



思わぬ事故をまねくおそれがあります。

- ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などでふいたり、殺虫剤をかけないでください。



- 高さを調節するときや、収納レバーを操作するときに脚の間に指や手をはさまないように注意してください。



お子さまが落ちるおそれがあります。

- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5・6ヵ月）必ず肩ベルトも使用してください。
※ スウィングを使用するときも同じです。



- 肩ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。（10 ページ参照）リクライニングで角度を変えたときは、そのつどシートベルトを調節してください。（9 ページ参照）



- お子さまが座面やステップに立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないように注意してください。



- お子さまが乗り降りするとき、特にお子さまがステップを踏み台にして乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。



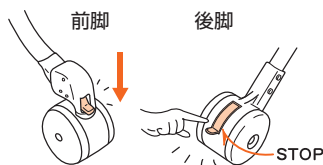
- お子さまを乗せたまま、持ち上げて移動したり、高さ調節、収納レバー、リクライニングなどの操作をしないでください。また、操作は必ず保護者が行ってください。



次ページにつづく

ラックが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- 移動するとき以外は、必ず次のことをお守りください。
- 前脚のキャスターロックレバーを下げ車輪を回転させロックしてください。(8 ページ参照)
- 後脚のブレーキレバーを STOP の位置にしてロックしてください。(8 ページ参照)

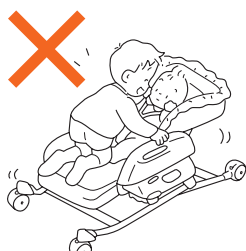


- 製品は水平な床で使用してください。傾斜・階段・段差（カーペットとフローリングの段差など）のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。



- 外から力をかけると転倒のおそれがあります。特にお子さまが乗っている場合はご注意ください。

- 1 度に、2 人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまが乗っている場合も、乗っていない場合も、他のお子さまが手をかけたり、よじ登ることはおやめください。



- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマブラザにご連絡ください。



- お子さまにラック（車輪ブレーキなど）を操作させないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



- 踏み台や台車、遊具のように使用しないでください。



- テーブルにあわせてご使用になる場合、お子さまが足でテーブルを蹴り上げるとラックが転倒するおそれがあります。

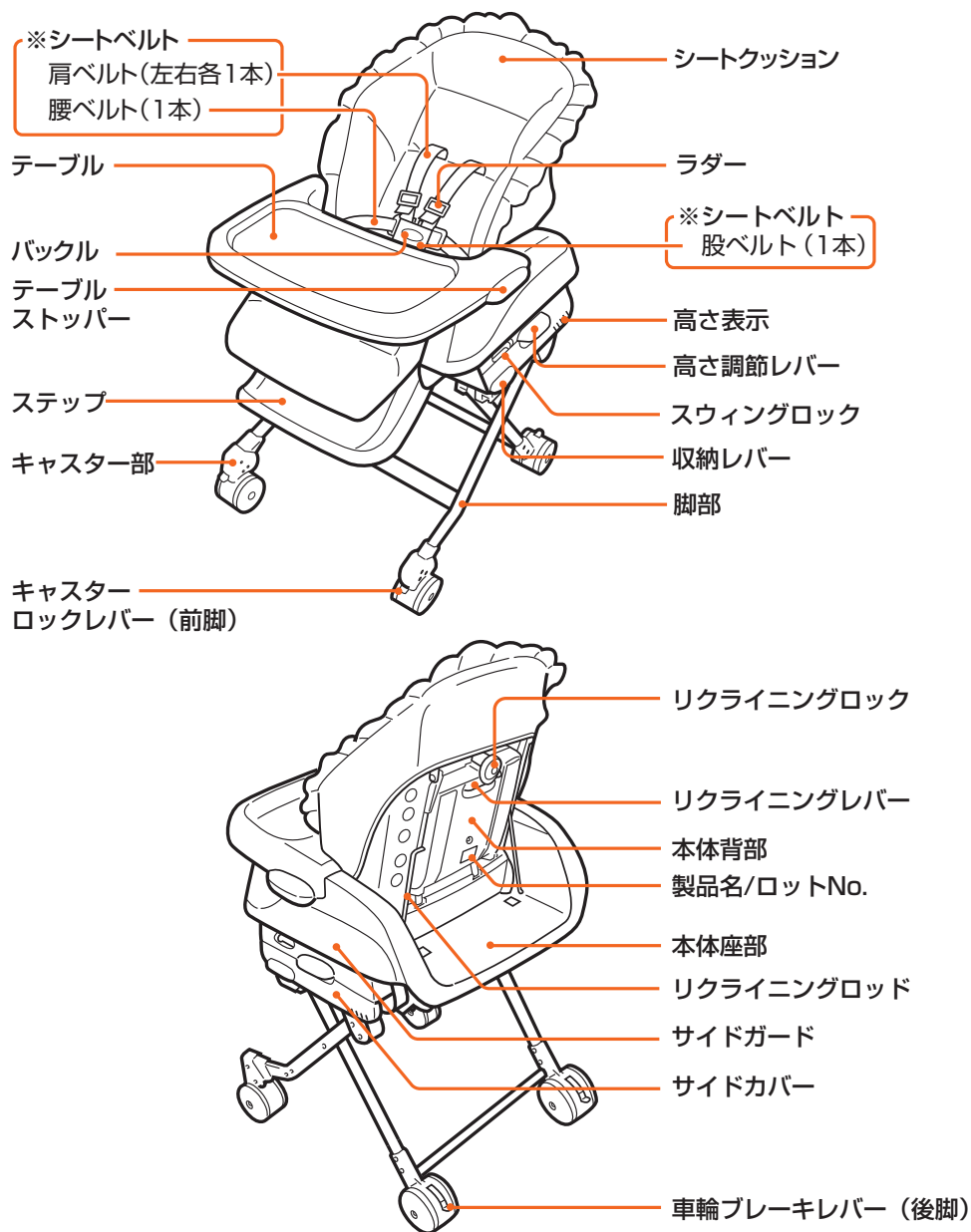


△ 注意

取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ラックが破損するおそれがあります。

- リクライニングで背もたれの角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
- シートクッションは必ず取り付けて使用してください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などがケガするおそれがあります。
- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ



※シートベルトとは、「腰ベルト・股ベルト・肩ベルト」の総称です。

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ① 本体 (シートクッション付) 1 個
- ② テーブル 1 個
- ③ 取扱説明書 (本書) 1 冊

●組み立てる前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ①製品名 / ロット No. (本体背面にあります。上記のイラストをご覧ください)
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

高さ調節のしかた

お部屋や利用するときの状態にあわせて、高さを 5 段階に調節できます。



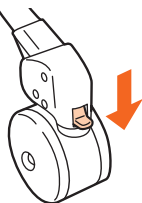
- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 高さ調節は、必ず保護者が行ってください。



- 左右の高さ表示があっているかを、必ず確認してください。高さが違うときは再度調節しなおしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動します。足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは、必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因となります。
- 高さ調節時に、ラックの脚の間に手を入れないでください。ケガの原因となります。

1

必ず前脚のキャスターロックレバーが下がり、ロックされていることを確認する。



ワンポイント



詳しくは「キャスターロックの使いかた」(8 ページ)をご覧ください。

3

左右の高さ調節レバーから指を離す。

4

左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。

ワンポイント



左右の高さが違う場合は、もう 1 度やりなおしてください。

2

左右の高さ調節レバーを押し上げたまま、本体を上下させて、利用する高さにする。



ワンポイント



本体を持ち上げるようにすると、高さ調節レバーが押し上げやすくなります。

キャスター・車輪ブレーキの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使用します。

移動しないときには、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。



- キャスターは水平な床で製品の向きを変えたり、移動するときに使用するものです。そのため、傾斜・階段・段差のある場所では使用しないでください。
- 移動するとき以外は、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。



- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- キャスターと車輪ブレーキがロックされていないと、スムーズにスウィングできません。
- スウィングするときには、必ずキャスターと車輪ブレーキをロックしてください。

キャスターロックの使いかた(前脚)

キャスターを使用する場合

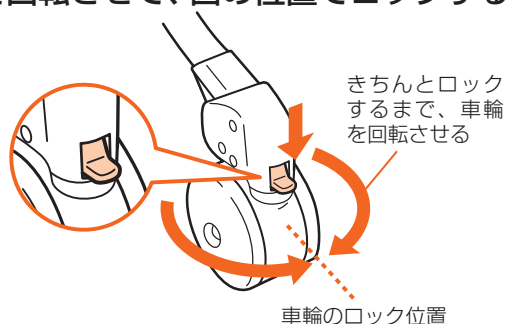
キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。



※キャスターの動きは、高さ調節の段階により異なります。動きが悪い場合は、高さ調節を最上段にしてください。

キャスターを使用しない場合

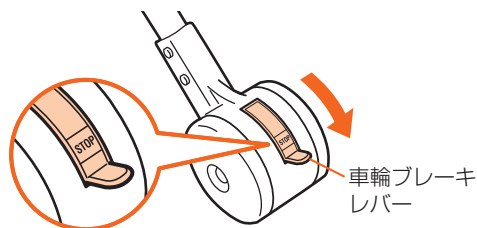
キャスターロックレバーを下げ、車輪を回転させて、図の位置でロックする。



車輪ブレーキの使いかた(後脚)

車輪ブレーキを使用する場合

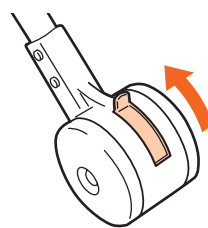
車輪ブレーキレバーを矢印の方向に下げ、車輪をロックする。



※車輪ブレーキレバーを1番下まで下げると、「STOP」の表示が図の位置になります。

車輪ブレーキを使用しない場合

車輪ブレーキレバーを矢印の方向に上げて解除する。



シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた

シートベルトとは、腰ベルトと股ベルト、肩ベルトの総称です。

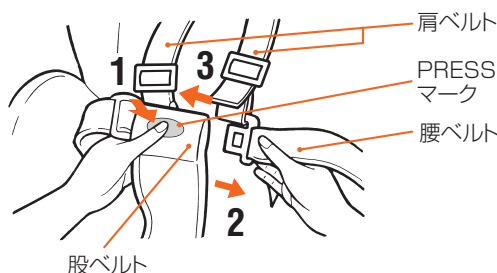


- ・股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。また、18 ヶ月未満のお子さまには必ず肩ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するとき(新生児～5・6 ヶ月)必ず肩ベルトも使用してください。※ スウィングを使用される場合も同じです。
- ・18 ヶ月以上のお子さまがイスとして使用するとき(1 ページのリクライニング位置 ③④⑤)は、肩ベルトはシートクッションの裏側に収納してください。
- ・シートベルトを締めずに乗せたり、締めかたが不完全の場合、使用中にお子さまが落下するおそれがあります。またシートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- ・お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- ・左右の肩ベルトを交差させて装着しないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトのはずしかた、取り付けかた

シートベルトのはずしかた

1. バックルの PRESS マークを親指で強く押す。
2. 股ベルトから左右の腰ベルトをはずす。
3. 腰ベルトから肩ベルトをはずす。



シートベルトの取り付けかた

シートベルトを取り付けるときは、上記「はずしかた」の逆の手順で行ってください。

シートベルトの長さ調節

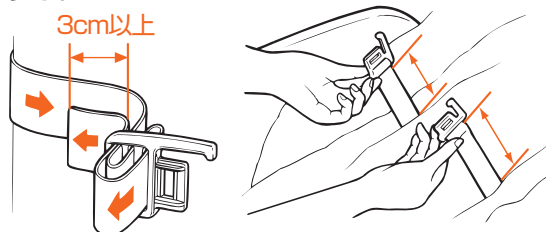
ベルトがゆるすぎたり、きつすぎるときは、調節しなおしてください。



- ・シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- ・リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節しなおしてください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- ・調節後は、シートベルトを引っ張り、抜けないことを確認してから調節してください。
- ・18 ヶ月未満のお子さまがリクライニングで背もたれを寝かせた状態で使うときは、必ず肩ベルトも使用してください。
- ・各ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。

腰ベルトの長さ調節

腰ベルトの長さを調節し、左右の長さを同じにする。



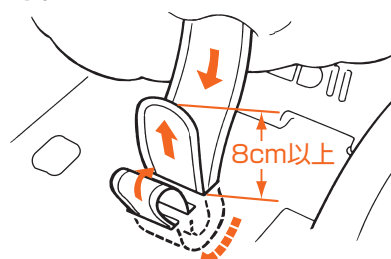
※イラストは差し込みバックル(左)

ワンポイント

- 腰ベルトの先端は、3cm 以上の長さを残してください。

股ベルトの長さ調節

シートクッションをめくり上げ、股ベルトの長さを調節する。

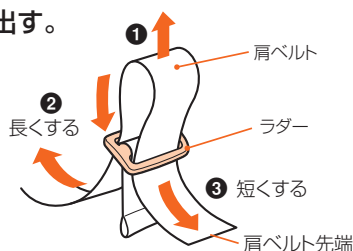


ワンポイント

- 股ベルトの先端は、8cm 以上の長さを残してください。

肩ベルトの長さ調節

1. ① 調節したい分の長さを引き出す。
2. 長くするときには、
…② の方向に引っばる
短くするときには、
…③ の方向に引っばる。



注意 ラダーは、肩ベルトから取りはずしできません。

ワンポイント



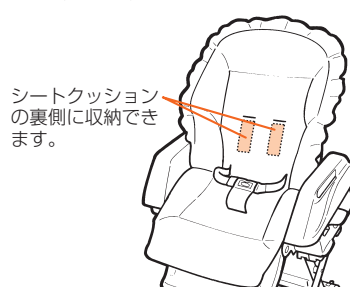
• リクライニングで背もたれの角度を変えると、シートベルトの長さが変わります。背もたれの角度を変えた後は、シートベルトの長さを調節しなおしてください。



• ベルト調節の目安は、シートベルトとお子さまの間に大人の指が1～2本入るくらいです。



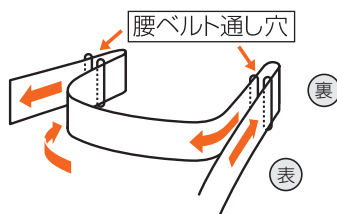
• 18 ヶ月以上のお子さまで肩ベルトを使わないときは、シートクッションの裏側に収納してください。



腰ベルト、股ベルトを本体に取り付ける

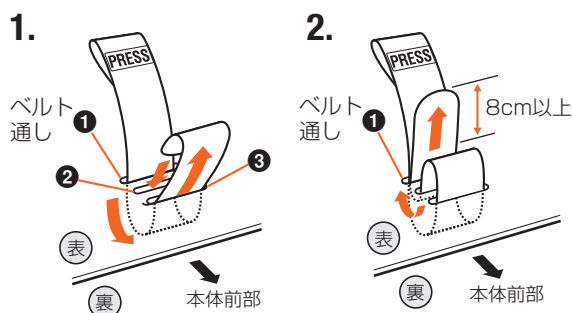
腰ベルトの取り付けかた

1. 腰ベルトは、図のように片方のベルト通しから本体裏側に通し、いったん表側に引き出して、もう片方のベルト通しを同様に通す。
2. 腰ベルトの長さを調節して、左右同じ長さにする。



股ベルトの取り付けかた

1. 本体表側から、股ベルトの先端を① ベルト通しに通して裏側に入れる。
ベルト先端を③ ベルト通しから表側に出し、② ベルト通しに通して裏側に入れる。
2. ベルト先端を① ベルト通しから表側に戻す。



ワンポイント

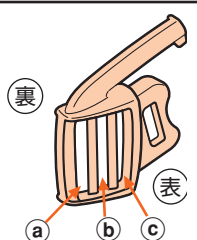


詳しくは「シートベルトの長さ調節」(9 ページ)をご覧ください。

差し込みバックルの腰ベルトへの取り付けかた

差し込みバックルの ベルト通し

※イラストは差し込み
バックル（左）



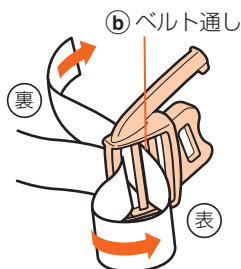
ワンポイント

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

1. バックル裏側から、腰ベルトを①ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



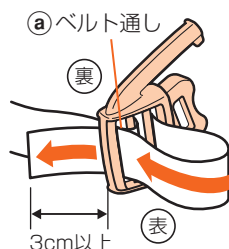
2. バックル表側から、ベルト先端を②ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



3. バックル裏側から、ベルト先端を③ベルト通しを通して、表側へ引き出す。



4. ベルト先端を④ベルト通しを通して、裏側へ入れる。



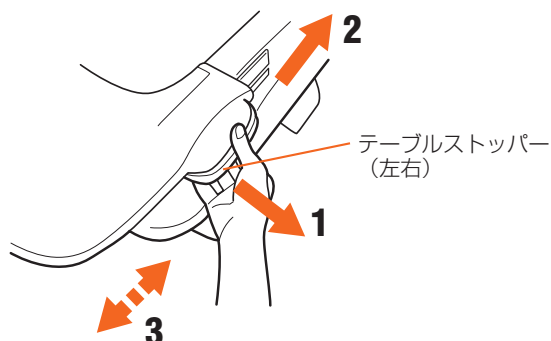
テーブルの取り付けかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。



- 本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまを支えられません。必ずシートベルトを使用してください。
- お子さまが本体側面の溝に指を入ると、ケガをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、たいたりしないでください。破損の原因となります。
- テーブルはお子さまの体にフィットさせてお使いください。

1. テーブル両側のテーブルストッパーを、外側に引っぱる。
2. 本体側面のテーブル差し込み溝に、テーブルをあわせて差し込む。
3. 前後3段階からお好みの位置にあわせる。
4. テーブルを軽く前後に押して、抜けないことを確認する。



テーブルのはずしかた

テーブル両側の2カ所のテーブルストッパーを外側に引っ張り、そのまま引き抜きます。

リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

お願い

生後2～3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。

警告

- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節しなおしてください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒すときは、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。リクライニング操作後はシートベルトを適切な長さに調節してください。

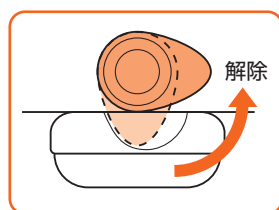
注意

- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニングを操作すると、連動してステップの角度が変化し前方向に30cm程出ますので、障害物のないことを確認の上、操作してください。

※ リクライニングの角度について詳しくは、「使いかたの目安」(1ページ)の「リクライニング角度の使用範囲」をご覧ください。

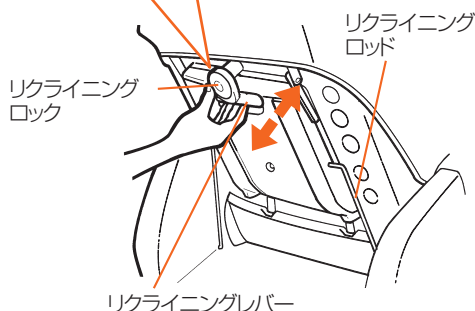
1

リクライニングロックを解除する。



2

リクライニングロックの凹みに親指を押しあてながら、リクライニングレバーを手前に引き、ご使用になる背もたれの角度のところでリクライニングレバーを戻す。



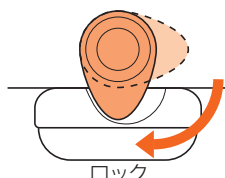
ワポイント



- 背もたれとステップは別々に動かすことはできません。
- シートクッションの背部を軽く押して、リクライニングロッドが固定されていることを確認してください。

3

リクライニングの角度を決めたら、リクライニングロックを元に戻して必ずロックする。



スウィングの使いかた

心地よいゆれが、お子さまを落ちついた気分にしてくれます。

スウィングするときは、必ず前脚のキャスターと、後脚の車輪ブレーキをロックしてください。

警告

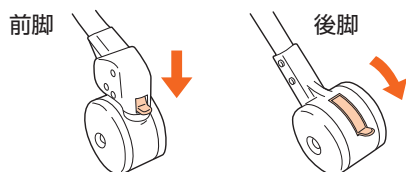
- 必ずシートベルトを締めてください。
- 簡易ベッドとして使用するとき(1 ページのリクライニング位置 ① と ②)は、新生児～5・6 ヶ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は 2.5kg～8kg)にお使いください。
- 激しくスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は 15 分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは簡易ベッドのみの機能ですので、いすのとき(1 ページのリクライニング位置 ③④⑤)には使用しないでください。いすのときに使用した場合、テーブルなどの間に手や足などをはさんだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのようにして遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

注意

- 生後 2～3 ヶ月で首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを 1 番寝かせた角度にしてください。背もたれを立たせた状態でスウィングすると、お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたります。
- 授乳後 30 分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときは、お子さまの様子をよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 収納状態では、スウィングさせないでください。

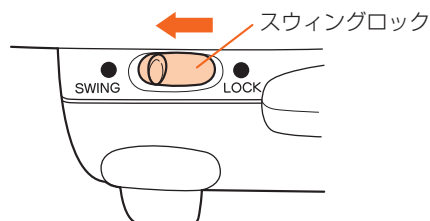
1

必ず前脚のキャスターと、後脚の車輪ブレーキをロックする。



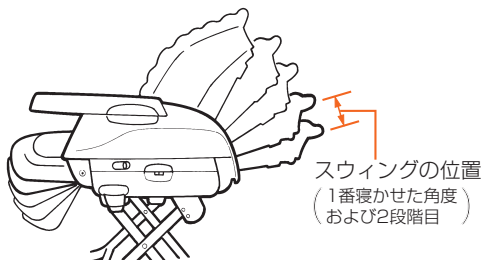
3

左右のスウィングロックを SWING の位置にする。



2

リクライニング角度を、スウィングの位置にする。



ワンポイント

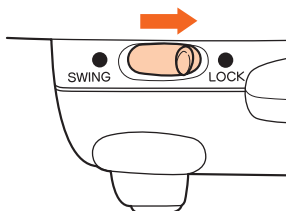
詳しくは「リクライニングの使いかた」(12 ページ)をご覧ください。

4

手で背もたれをゆっくり押してスウィングさせる。

スウィングしないときは

スウィングロックを LOCK の位置にする。



ワンポイント

スウィングを使用しないときは、必ず LOCK の位置にしてください。

収納レバーの使いかた

箱に収納するとき、コンパクトなサイズにできます。



- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。



- 収納状態では、使用しないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるとき、ラック本体と床面との間に指や足などをはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- 収納するとき以外は、収納レバーを使わないでください。

1

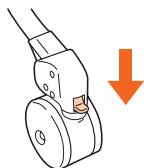
1. リクライニングで背もたれの角度を 1 番寝かせた状態にする。

ワンポイント



詳しくは「リクライニングの使いかた」(12 ページ)をご覧ください。

2. 左右の前脚キャスターをロックする。

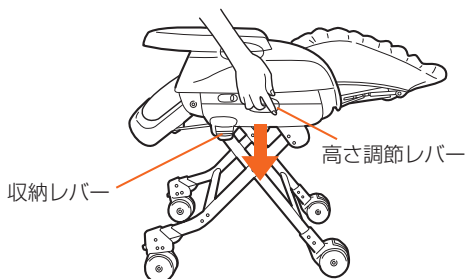


ワンポイント



詳しくは「キャスターロックの使いかた」(8 ページ)をご覧ください。

3. 高さ調節レバーで、本体の高さを 1 番低い位置にする。



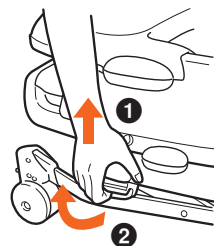
ワンポイント



詳しくは「高さ調節のしかた」(7 ページ)をご覧ください。

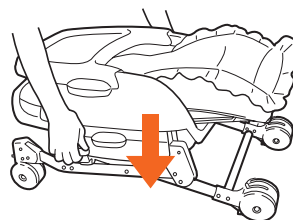
2

左右の収納レバーを指でつまみ、① 上へ持ち上げるようにしてから② 外側へレバーをゆっくり回して解除する。



3

収納レバーが解除されたら、そのままゆっくりと下げる。



ワンポイント



- 収納位置から再度ラックをご使用になるときは、高さ調節レバーを操作し、ご使用になる高さまで持ち上げてください。
- 詳しくは「高さ調節のしかた」(7 ページ)をご覧ください。

使いかた

シートクッションの取り付けかた



シートクッションは必ず取り付けてご使用ください。座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。

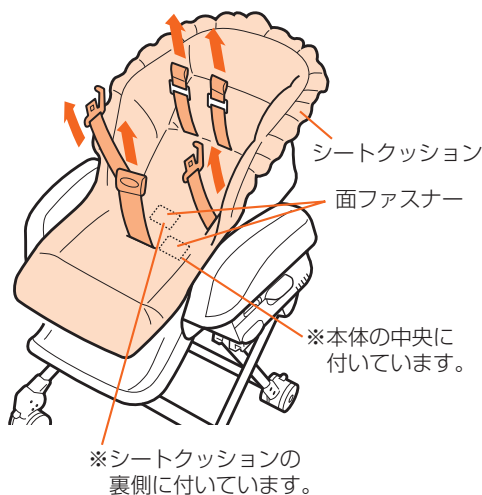
1. リクライニングで背もたれの角度を 1 番立てた状態にする。

ワンポイント

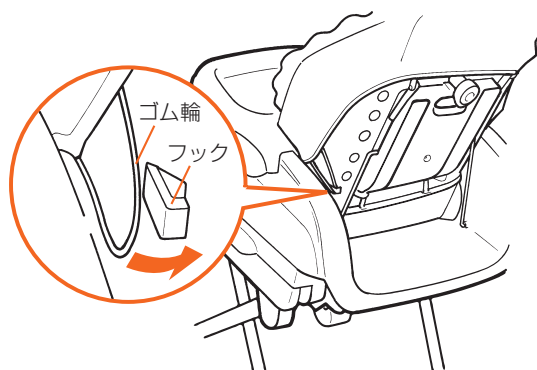


詳しくは「リクライニングの使いかた」(12 ページ) をご覧ください。

2. シートクッションを本体にかぶせ、シートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)をシートクッションの表側に引き出す。



3. シートクッションを本体の形にあわせて整え、面ファスナーで固定する。(面ファスナーの貼り付け位置を必ず確認してください。)
4. 正しい位置に固定できたら、左右のゴム輪を本体両側のフックにかける。



シートクッションをはずすときは

シートクッションをはずすときは、リクライニングで背もたれの角度を 1 番立てた状態にして、左右のゴム輪を本体両側のフックからはずし、上記「取り付けかた」を逆の手順で行ってください。

日常のお手入れのしかた

本体のお手入れ



中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯をやわらかい布に含ませて、ふいてください。
- 車輪や車輪ブレーキは、ワックスやほこりなどが付着するとすべりやすくなります。薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませて、ふいてください。

シートクッション、股ベルト、肩ベルト、腰ベルトのお手入れ



液温は 30℃ を上限として手洗いしてください。



漂白剤は使用しないでください。



アイロン掛けはしないでください。



ドライクリーニングはしないでください。



強くしぼると、シワが残ることがあります。



日陰で平干ししてください。

- シートクッション、股ベルトは取りはずして、左記の洗濯表示に従い洗濯してください。
- 股ベルトは、バックルを付けたまま洗ってください。(バックルは取りはずせません)
- 肩ベルト、腰ベルトはやわらかい布に水をしめらせてふき、陰干ししてください。
- 製品の特性上、多少色あせすることがあります。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤、漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯と脱水の際は、他の衣料品と区別されることをおすすめします。
- すすぎは充分に行ってください。
- 快適に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。



お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

スウィングラック Q&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

Q1

ハイ＆ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

新生児から使用できます。
ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番寝かせた角度で使用してください。

Q3

スウィングの時間は何分ぐらいが適当ですか？

お子さまが機嫌よく、心地よい表情でいられるかを目安にしてください。
気持ちよさそうに眠り始めたときはすぐにとめないで、しばらくスウィングを続けてあげたほうがよいでしょう。
10～15分くらいを目安に考えてください。

Q2

1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？

お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。
お子さまが機嫌よくひとり遊びしている時間が目安になります。
お子さまには、やはりお母さまのだっこが1番です。ラックに長時間いることはよくありません。
1日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。
スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、よく寝ついてから移してあげてください。

Q4

スウィングさせるときの最適なゆらしかたはありますか？

背もたれを「スウィングの位置」にしてお子さまを寝かせ、様子を見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。
お子さまが眠ったときは、徐々にゆらしかたを小さくしてあげるようにしてください。

保管のしかた



火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

- 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

点検とアフターサービスについて

- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。



上記を1ヵ所でも見つけたときには、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品の修理 / 部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ

(Customer Service Center)

〒 339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271
TEL. (048) 797-1000
FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ

(Customer Service Center) / 西日本担当

〒 540-0026 大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16
TEL. (06) 6942-0379
FAX. (06) 6942-0302

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

- 地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SG マーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。ハイローラックの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意

認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は、保護者)が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

製品安全協会 東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズミノ輪2階
TEL. (03) 5808-3300

●事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となった製品現品
 - ・製品名称、ロット No. ・購入先、購入年月日
- ② 事故発生の状況
 - ・事故発生年月日 ・事故発生場所 ・事故発生状況
- ③ 被害の状況
 - ・被害者の氏名、年齢、性別、住所
 - ・被害の状況



コンビ株式会社

■ 公式ホームページ
■ 公式オンラインショップ
■ 公式製品&育児情報サイト・コンビタウン

<http://www.combi.co.jp>
<http://www.combishop.jp>
<http://www.combibaby.com>

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 10:00~17:00 (日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■ 総合受付(各種ご相談)窓口 商品に関するお問い合わせ/修理のご要望/各種ご相談/その他
TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■ 部品販売(相談)窓口 部品購入のお問い合わせとご注文
TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間: 10:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ <http://www.combi.co.jp/cp/>